

5月例会は『旅立つ息子へ』

自閉スペクトラム症の息子と父親の絆を描くヒューマンドラマ

若葉の薫季節になりました。今年のゴールデンウィークは、お出かけした方も多かったのではないのでしょうか。しかし、コロナウイルスが収束したわけではないので、例会は、①自宅で体温を測定 ②体調の悪い時は行事に参加しない ③入館時には手指の消毒、マスク着用 を守って、参加ください。3月例会では、たくさんの方が2022年度会費を納入くださりありがとうございました。さて、5月例会と7月例会は、お友達お誘い例会として、会員同伴または紹介により、臨時会費1,000円で鑑賞できるようにします。一緒に映画を楽しみましょう

参加方法：①受付で、紹介者氏名と参加者氏名・連絡先を記入します。②臨時会員会費1,000円を納めます。

例会のお知らせ

■名称／第117回例会『旅立つ息子へ』

■日時／2022年5月18日(水)

①PM2:00～、②PM4:20～、③PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きしていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから「例会参加券」をお受取りください。



【例会作品データ】

■タイトル／『旅立つ息子へ』

■監督／ニル・ベルグマン

■出演／シャイ・アヴィヴィ、ノアム・インベル、スマダル・ヴォルフマン、エフラット・ベン・ツア、アミール・フェルドマン

■データ／2020年、イスラエル・イタリア、92分

■ジャンル／ヒューマンドラマ

■ストーリー／愛する息子ウリのために人生を捧げてきた父アハロンは、田舎町で2人だけの世界を楽しんできた。しかし、別居中の妻タマラは自閉症スペクトラムを抱える息子の将来を心配し、全寮制の支援施設への入所を決める。定収入のないアハロンは養育不適合と判断され、裁判所の決定

に従うしかなかった。入所の日、ウリは大好きな父との別れにパニックを起こしてしまう。アハロンは決意した。「息子は自分が守る」こうして2人の無謀な逃避行が始まった。(作品ホームページから)

定例総会の報告

2022年度総会を4月23日(土)午後4時から加古川町粟津の喫茶「加古川珈琲」で行いました。出席者7人、委任状10人。計17名で議案の検討をし、ほぼ原案どおり議決されました。

まず、2021年度の活動報告と決算報告について。新型コロナウイルスの影響で5月例会が中止となり、年5回の例会となりました。一般オープンの特別例会や兵庫県映画センターとの共催事業もできませんでした。収支については、単年度決算では5万円の赤字。最も大きな課題である会員数については、平均135名となかなか増やすことができませんでした。3月例会では、7名の入会がありました。しかし、3月末で退会される方は、9名と入会を上回る数になりました。支出の部では、通信費が皆さんの切手の寄付で支出が抑えられました。ありがとうございました。引き続き、1枚でも2枚でもご協力をお願いします。

議案1「役員」は、代表委員に山本芳明さんと千知佐子さん 事務委員に山本さん 菅さん、監査委員は松本さんです。

議案2「活動計画」では、9月1日から11月30日まで空調設備改修工事のため大会議室が使用できないので、変則的になりますが、8月31日「特別例会 ひまわり・飛ベダコタ」と12月上旬「MINAMATA」に変更します。詳細については、7月例会までにお知らせします。議案3「予算」の手数料は、郵便局自動払込事務費として、新たに年間13,200円(月額1,100円)が加算されます。手数料1件54円は変わりません。議案4「会則の一部改正」です。一部分を加筆しました。第2条(所在)私たちの事務局は、加古川市または加古川市隣接市町に置きます。この団体の所在地を代表委員居住地に置きます。

6年前から行っている明石シネマクラブとの例会相互参加事業は好評で、引き続き継続します今後運営を続けていくためには、最低150名の会員が必要です。コロナ禍の中、お誘いするのも気を使いますが引き続き、会員拡大にご協力をお願いします。運営委員会は、2か月に1回第4土曜日16時から加古川町粟津の「加古川珈琲」で開いています。(5月28日・7月23日・10月22日)どなたでも参加できます。一度覗いてみてください。

私の映画KAN『ドライブ・マイ・カー』

アメリカ映画界の最高荣誉第 94 回アカデミー賞の国際長編映画賞に輝いた「ドライブ・マイ・カー」は、妻が秘密を抱えたまま亡くなり、心に穴があいた舞台演出家・家福と若い専属ドライバー・みさきとの対話などを通じて、喪失と再生の物語が描かれている。3時間近くあるし、ちょっと苦手な村上春樹氏の短編小説がもとになっているので「え〜、途中でいやになるかな」と。最初は、なかなか映画のストーリーに入っていけず、おまけにチェーホフの「ワーニャ伯父さん」を知らなくて、車の中で繰り返し流れる妻のセリフに???でした。広島での演劇祭に演出家・出演者として招待される家福。出演者は、アジア各地から集まり、手話を使う方もいる。初めは言葉もわからず、ぎくしゃくする稽古の中から少しずつお互いに通じるものが生まれていきます。こんな多言語舞台ができるんだとびっくりしました。そして、2年も前に亡くなった妻のセリフに応えるように繰り返し練習する家福と黙々と車を走らすみさきは、点と点であって線はひかれることはないと思っていたが、自分自身にまっすぐむかい合うために、広島からみさきの実家北海道まで休みなく車を走らせる。多くは語らない二人から不思議と心の中の情景が浮かんでくるのです。だんだん時間が気にならなくなり、ぐんぐんと映画の中に引き込まれていきました。ラストのスーパーで買い物し、あの赤い車に乗り込むみさきの場所は、どう見ても釜山?だよ。家福と一緒に暮らしているというロマンチックな感想もありましたが、後日運営委員会で、「韓国では、女性ドライバーが多い。地位も低くて収入も少ないが、元手がなくても車さえあればドライバーになれる。」と聞いて、「寄り添って生きていることもありですが、やっぱり彼女は、車をもって、一人でドライバーをしている。家福も心の傷をかかえながらも前をみつめて舞台上で活躍し、お互いそれぞれの道をすすんでいる」と思いました。村上作品は、やっぱり苦手!(和)

■題名/ドライブ・マイ・カー

■監督/濱口竜介

■出演/西島秀俊、三浦透子、霧島れいか、岡田将生

■2021年、日本、179分、ヒューマンドラマ

前回の例会報告

3月22日(火)の3月例会では、ピアノの詩人ショパンのエチュード第3番が「別れの曲」と呼ばれる由来となった78都市前の伝説の名画!『別れの曲』を鑑賞しました。

古い作品なので少し不安でしたが、参加者からは多くの好評の声がありました。

参加者 97名 明石 13名。

明石シネマクラブ例会情報

■名称/第71回特別例会『大コメ騒動』(2021年、日本、106分)

■監督/本木克英

■出演者/井上真央、三浦貴大、夏木マリ、立川志の輔、吹越満、吹越満、鈴木砂羽、舞羽美海、左時枝、柴田理恵、木下

ほうか、西村まさ彦、室井滋

■ジャンル/ドラマ、歴史

■ストーリー/「コメを旅に出すな——！」



3人の子を持つ“おかか”であり米俵を浜へと担ぎ運ぶ女仲仕として働く松浦いとは、17歳で漁師の利夫のもとへ嫁いできた。小さな漁師町で暮らすおかかたちは、家事、育児、そしてそれぞれの仕事を

しながら、夫のために毎日一升のコメを詰めた弁当を作り、漁へと送り出している。ある日、高騰するコメの価格に頭を悩ませていたおかかたちは、リーダー的存在である清んさのおばばとともにコメの積み出し阻止を試みるも、失敗に終わる。その騒動は地元の新聞記者により「細民海岸に喧噪す」と報じられ、またそれを見た大阪の新聞社は陳情するおかかたちを“女一揆”として大きく書き立て、騒動は全国へと広まっていく。そしてある事故をきっかけに我慢の限界がきたおかかたちは、さらなる行動に出るが—。(作品ホームページから)

■日時/6月24日(金)①AM10:30-、PM2:00-、③PM7:00-

■場所/アスパア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容/加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付/会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662 (金沢まで)

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 079-425-4499 ※

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/

※ファクシミリの番号が変わりました。

会員数 137人(3月22日現在)